

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 08115311
PUBLICATION DATE : 07-05-96

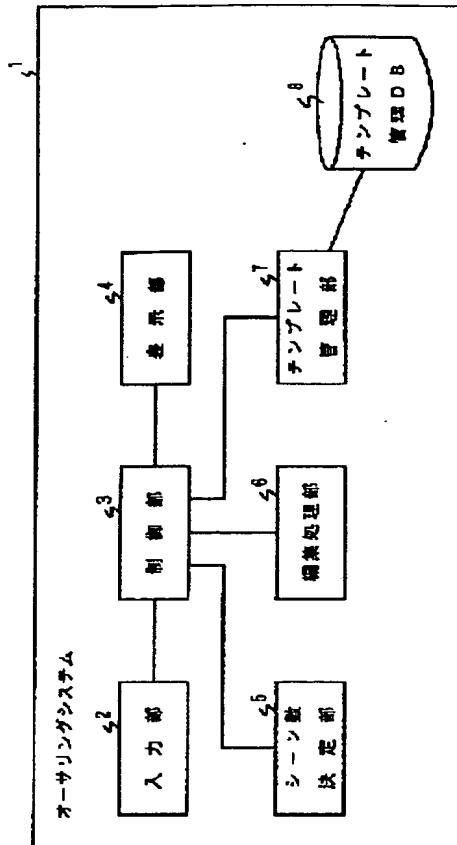
APPLICATION DATE : 18-10-94
APPLICATION NUMBER : 06252127

APPLICANT : TOSHIBA CORP;

INVENTOR : YABANETA CHIHOKO;

INT.CL. : G06F 17/00 G10L 3/00 H04N 5/262

TITLE : AUTHORING SYSTEM



ABSTRACT : PURPOSE: To provide an authoring system which easily generates an effective presentation title.

CONSTITUTION: The authoring system which constitutes respective scenes with text data, speech data, image data, moving image data, etc., and edits those scenes to generate the presentation title is equipped with a template management part 7 which holds plural templates of whole constitution according to the total number of the templates, an input part 2 which inputs a scheduled presentation time, a scene number determination part 5 which determines the total number of scenes on the basis of the presentation time inputted to the input part 2, and a control part 3 which selects one template from among the templates held in the template management part 7.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-115311

(43)公開日 平成8年(1996)5月7日

(51)Int.Cl.⁶
G 0 6 F 17/00
G 1 0 L 3/00
H 0 4 N 5/262

識別記号

S

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

9069-5L

G 0 6 F 15/ 20

Z

審査請求 未請求 請求項の数4 OL (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平6-252127

(22)出願日 平成6年(1994)10月18日

(71)出願人 000003078

株式会社東芝

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(72)発明者 矢羽田 千穂子

東京都青梅市末広町2丁目9番地 株式会社東芝青梅工場内

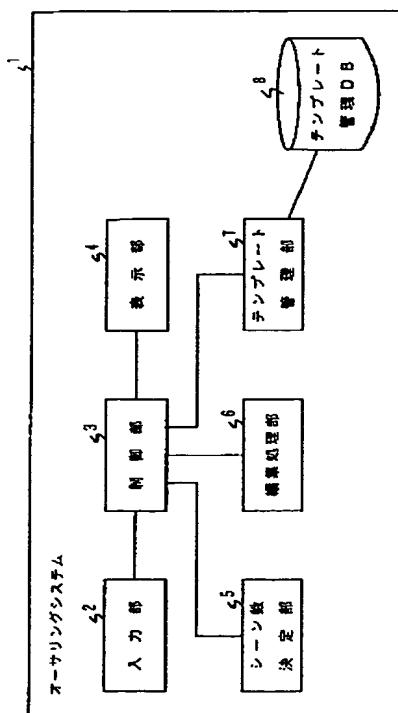
(74)代理人 弁理士 鈴江 武彦

(54)【発明の名称】 オーサリングシステム

(57)【要約】

【目的】効果的なプレゼンテーションタイトルを容易に作成することを可能とするオーサリングシステムを提供する。

【構成】テキストデータ、音声データ、イメージデータ及び動画データ等により各シーンを構成し、この各シーン間を編集してプレゼンテーションタイトルを作成するオーサリングシステムにおいて、シーン総数に応じて全体構成された複数のテンプレートを保持するテンプレート管理部7と、予定されるプレゼンテーション時間を入力する入力部2と、入力部2により入力されたプレゼンテーション時間からシーン総数を決定するシーン数決定部5と、シーン数決定部5により決定されたシーン総数に基づいて、テンプレート管理部7により保持された複数のテンプレートの内からいずれかのテンプレートを選択する制御部3とを具備してなることを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 テキストデータ、音声データ、イメージデータ及び動画データ等により各シーンを構成し、この各シーン間を編集してプレゼンテーション作品を作成するオーサリングシステムにおいて、シーン総数に応じて全体構成された複数のテンプレートを保持する保持手段と、予定されるプレゼンテーション時間を入力する入力手段と、この手段により入力されたプレゼンテーション時間からシーン総数を決定する決定手段と、この手段により決定されたシーン総数に基づいて、上記保持手段により保持された複数のテンプレートの内からいずれかのテンプレートを選択する選択手段とを具備してなることを特徴とするオーサリングシステム。

【請求項2】 上記保持手段は、さらに上記複数のテンプレートそれぞれの優先度を保持し、上記選択手段は、上記決定手段により決定されたシーン総数に応じて全体構成されたテンプレートが上記保持手段に複数保持されていた際に、上記保持手段に保持されたテンプレートそれぞれの優先度に基づいて選択を行うことを特徴とする請求項1記載のオーサリングシステム。

【請求項3】 上記選択手段は、上記保持手段により保持された複数のテンプレートの内、上記決定手段により決定されたシーン総数に応じて全体構成されたテンプレートを一覧表示する表示手段と、この手段により一覧表示されたテンプレートの内からいずれかのテンプレートを選択する手段とを具備してなることを特徴とする請求項1記載のオーサリングシステム。

【請求項4】 上記各シーンそれぞれの種別を含む属性を保持する手段と、シーン相互間の移行の設定を同じ属性をもつシーン単位に一括して選択及び変更する手段とを具備してなることを特徴とする請求項1、2又は3記載のオーサリングシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、テキストデータ、音声データ、イメージデータ及び動画データ等により各シーンを構成し、この各シーン間を編集してプレゼンテーションタイトルを作成するオーサリングシステムに係り、特に利用者が専門的な技術を修得していないなくとも効果的なプレゼンテーションタイトル作品を作成することを可能とするオーサリングシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、パーソナルコンピュータ等の情報処理装置を用いたオーサリングシステムでプレゼンテーションタイトルを編集し作成する場合には、まず各シーンを一つずつ別々に作成し、出来上がったシーンそれぞれを連結させることにより全体を構成するといった手順を用いていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上述したような手順によりプレゼンテーションタイトルを編集し作成すると、即ち、プレゼンテーションを実施する時間、シーンの総数、及び全体構成等を考慮した編集を各シーンそれぞれの作成完了後に行うと、プレゼンテーション時間との関係で最終的に作品の一部を削除せざるを得なくなるといった問題や、シーン間のエフェクト等のトータル的なバランスが取れていないために、再度の編集を強いられたりといった問題が頻繁に発生していた。

10 【0004】 なお、シーン間エフェクトとは、プレゼンテーションとして効果的なシーン相互間の移行を実施するものであり、種類としては、「上から移動」、「下から移動」、「右上から移動」等が挙げられる。

【0005】 一方、プレゼンテーション時間、シーン総数及び全体構成等を当初から考慮して、かつより効果的なプレゼンテーションタイトルを編集するためには、専門的な技術の修得を必要とするため、従来のオーサリングシステムを用いたプレゼンテーションタイトル作成作業において、一般的な利用者にこのような高度な作業を要求することは非常に困難であった。

【0006】 本発明は、上記実情に鑑みてなされたものであり、利用者が専門的な技術を修得していないなくとも、全体的にバランスの取れた構成で、かつ効果的なプレゼンテーションタイトルを作成することを可能とするオーサリングシステムを提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】 本発明は、テキストデータ、音声データ、イメージデータ及び動画データ等により各シーンを構成し、この各シーン間を編集してプレゼンテーション作品を作成するオーサリングシステムにおいて、シーン総数に応じて全体構成された複数のテンプレートを保持する保持手段と、予定されるプレゼンテーション時間を入力する入力手段と、この手段により入力されたプレゼンテーション時間からシーン総数を決定する決定手段と、この手段により決定されたシーン総数に基づいて、上記保持手段により保持された複数のテンプレートの内からいずれかのテンプレートを選択する選択手段とを具備してなることを特徴とする。

40 【0008】 また、本発明は、上記保持手段が、さらに上記複数のテンプレートそれぞれの優先度を保持し、上記選択手段は、上記決定手段により決定されたシーン総数に応じて全体構成されたテンプレートが上記保持手段に複数保持されていた際に、上記保持手段に保持されたテンプレートそれぞれの優先度に基づいて選択を行うことを特徴とする。

【0009】 また、本発明は、上記選択手段が、上記保持手段により保持された複数のテンプレートの内、上記決定手段により決定されたシーン総数に応じて全体構成されたテンプレートを一覧表示する表示手段と、この手段により一覧表示されたテンプレートの内からいずれか

のテンプレートを選択する手段とを具備してなることを特徴とする。

【0010】また、本発明は、上記各シーンそれぞれの種別を含む属性を保持する手段と、シーン相互間の移行の設定を同じ属性をもつシーン単位に一括して選択及び変更する手段とを具備してなることを特徴とする。

【0011】

【作用】本発明の構成によれば、まず、入力手段が利用者からプレゼンテーションの予定時間を入力し、この入力されたプレゼンテーション時間から決定手段がシーン総数を決定する。

【0012】例えば、プレゼンテーション時間として10分を予定しており、かつ、予め1シーンを1分と設定されていた場合に、このプレゼンテーションのシーン総数として10シーンを割り振る。

【0013】そして、選択手段が、保持手段により保持されている複数のテンプレートの内から、この決定手段により決定されたシーン総数に対応するテンプレートを選択する。

【0014】このテンプレートは、プレゼンテーションの展開等が考慮され、かつプレゼンテーションをより効果的とするシーン間エフェクト等が予め設定された、いわゆるサンプルとして利用者に提供されるものである。例えば、シーン総数が10シーンである場合に、シーン1を表紙、シーンをメンバ構成、シーン3を目次、シーン4～シーン8を発表内容、シーン9をまとめ、及びシーン10を今後の展開等とするサンプルが一つのパターンとして挙げられる。

【0015】これにより、利用者は、専門的な技術の習得を必要とせずに、プレゼンテーション時間及び内容に応じた効果的かつ全体的にバランスの取れた構成のプレゼンテーションタイトルを作成することが可能となる。

【0016】また、本発明の構成によれば、決定手段により決定されたシーン総数に応じて全体構成されたテンプレートが保持手段に複数保持されていた際に、選択手段が保持手段に保持されたテンプレートそれぞれの優先度に基づいて選択を行う。

【0017】これにより、予め使用頻度の高いテンプレート等を優先して提供することが可能となり、処理効率が向上する。また、本発明の構成によれば、まず、入力手段が利用者からプレゼンテーションの予定時間を入力し、この入力されたプレゼンテーション時間から決定手段がシーン総数を決定する。そして、表示手段が、保持手段により保持されている複数のテンプレートの内から、この決定手段により決定されたシーン総数に対応したテンプレートを一覧表示する。

【0018】ここで利用者は、この一覧表示された複数のテンプレートを参照することにより、プレゼンテーションの内容に適し、かつプレゼンテーションの展開に適したテンプレートを選択する。

【0019】これにより、利用者は、効果的かつ全体的にバランスの取れた構成をもつプレゼンテーションのテンプレートを視覚的に選択することが可能となり、かつ、処理効率の向上も図ることができる。

【0020】また、本発明の構成によれば、各シーンそれぞれの種別を含む属性を保持する手段を有し、また、この属性に従ってシーン間エフェクトを一括選択及び変更する手段を有しているため、例えば、同レベルに位置するシーンへのエフェクトを統一させること等の設定が容易となる。これにより利用者の操作性を飛躍的に向上させることが可能となる。

【0021】

【実施例】以下図面を参照して本発明の一実施例を説明する。図1は同実施例に係るオーサリングシステムの概略構成を示す図である。同実施例に係るオーサリングシステムは、図1に示すように、入力部2、制御部3、表示部4、シーン数決定部5、編集処理部6及びテンプレート管理部7を具備してなり、また、テンプレート管理部7はテンプレート管理データベース8を備えている。

20 【0022】このオーサリングシステム1は、制御部3により全体の制御が行われる。そして、入力部2は、利用者からのプレゼンテーション時間や選択結果等の入力をを行い、シーン数決定部5は、入力部2により入力されたプレゼンテーション時間からシーン総数を決定する。また、編集処理部6は、利用者の指示に従って各シーンの編集やシーン間エフェクト等の設定を行い、テンプレート管理部7は、バターン別に作成されたテンプレートをテンプレート管理データベース8に保持する。このテンプレートは、シーン数決定部5により決定されたシーン数に従ってテンプレート管理データベース8から抽出され、表示部4に一覧表示される。

【0023】次に、図2を参照して同実施例の動作原理を説明する。図2は、同実施例の動作を説明するための概念図である。同実施例に係るオーサリングシステム1の制御部3は、まず、表示部4を駆動制御して、図2の(a)に示すような画面を表示し、利用者にプレゼンテーション時間の入力を促す。ここでは、利用者がこの表示に対して10分という値を入力したとする。

40 【0024】この利用者からの時間を入力部2により入力した制御部3は、この入力値であるプレゼンテーション時間をシーン数決定部5に送信する。そして、このプレゼンテーション時間を受信したシーン数決定部5は、この時間に適応したシーン数を算出して決定する。例えば、1シーンが1分と設定されていたとすると、シーン数決定部5は、10分の入力に対し10シーンというシーン総数を決定する。

【0025】シーン数決定部5によりプレゼンテーション全体のシーン総数が決定されると、制御部3は、テンプレート管理部7を駆動制御して、この決定されたシーン総数、即ち10シーンに対応したテンプレートをテン

5.

プレート管理データベース8から検索する。

【0026】このテンプレート管理部7により検索されたテンプレートは、表示部4により、図2の(b)に示すようにその全体構成とともに一覧表示され、利用者にいずれかのテンプレートの選択を促す。

【0027】ここで、例えば利用者が[2]のテンプレートを選択したとすると、制御部3はその選択結果を入力部2より入力し、編集処理部6に送信する。そして、以降の各シーンそれぞれの編集、及びシーン間エフェクト等がこの選択された[2]のテンプレートを基礎にして編集処理部6により継続して行われる。

【0028】この編集処理部6は、例えば、「A」から「B1」へのエフェクトを選択又は変更した場合に、同レベルにある「A」から「B2」、及び「A」から「B3」へのエフェクトも同様に一括選択又は変更する機能をもつ。

【0029】これにより、利用者は、専門的な技術を習得していないとも、プレゼンテーション時間及び内容に応じた効果的、かつ全体的にバランスの取れた構成のプレゼンテーションタイトルを効率良く作成することが可能となる。

【0030】次に、図3を参照して同実施例の動作手順を説明する。図3は同実施例の動作を説明するためのフローチャートである。同実施例に係るオーサリングシステム1の制御部3は、まず、表示部4を駆動制御してプレゼンテーション時間入力画面を表示し、利用者にプレゼンテーション時間を入力させる(図3のステップS1)。

【0031】この利用者からのプレゼンテーション時間は、入力部2を介して入力され、シーン数決定部5に送信される。そして、このプレゼンテーション時間を受信したシーン数決定部5は、このプレゼンテーション時間に基づいてシーン総数を決定する(図3のステップS2)。例えば、利用者のプレゼンテーション時間の入力が10分であり、1シーン当たりの時間が1分と設定されていた場合に、シーン総数を10シーンと割り当てる等である。

【0032】このシーン総数が決定すると、次に、制御部3は、テンプレート管理部7を駆動制御して、この決定されたシーン総数、即ち10シーンに対応したテンプレートをテンプレート管理データベース8から検索する(図3のステップS3)。そして、検索されたテンプレートを表示部4により一覧表示する(図3のステップS

4)。

【0033】ここで、利用者は、プレゼンテーションの内容、及びストーリーの展開等を考慮して、複数一覧表示されたものの内から最も適切と思われるテンプレートを選択する(図3のステップS5)。

【0034】この利用者の選択結果は、入力部2を介して編集処理部6に送信され、以降はこの選択されたテンプレートを基礎として、各シーンそれぞれの編集やシーン間エフェクト等のプレゼンテーションタイトルの作成が行われる(図3のステップS6)。

【0035】これにより、利用者は、専門的な技術を習得していないとも、プレゼンテーション時間及び内容に応じた効果的、かつ全体的にバランスの取れた構成のプレゼンテーションタイトルを効率良く作成することが可能となる。

【0036】なお、同実施例では、シーン数決定部5により決定されたシーン総数に対応したテンプレートをテンプレート管理データベース8から検索し、表示部4により一覧表示することにより利用者にテンプレートの選択を促しているが、テンプレート管理データベース8にテンプレートそれぞれの優先度を格納しておき、この優先度に従って選択していく方法も有効である。

【0037】

【発明の効果】以上詳述したように、本発明の構成によれば、利用者はプレゼンテーション時間を入力するのみで、予め準備された効果的かつ全体的にバランスの取れた構成のテンプレートを視覚的に選択することができるため、専門的な技術を習得していないとも高度な編集を伴ったプレゼンテーションタイトルを作成することが可能となる。また、シーン間エフェクトの一括選択及び変更機能をもつことによりプレゼンテーションタイトル作成の処理効率を飛躍的に向上させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例に係るオーサリングシステムの概略構成を示す図。

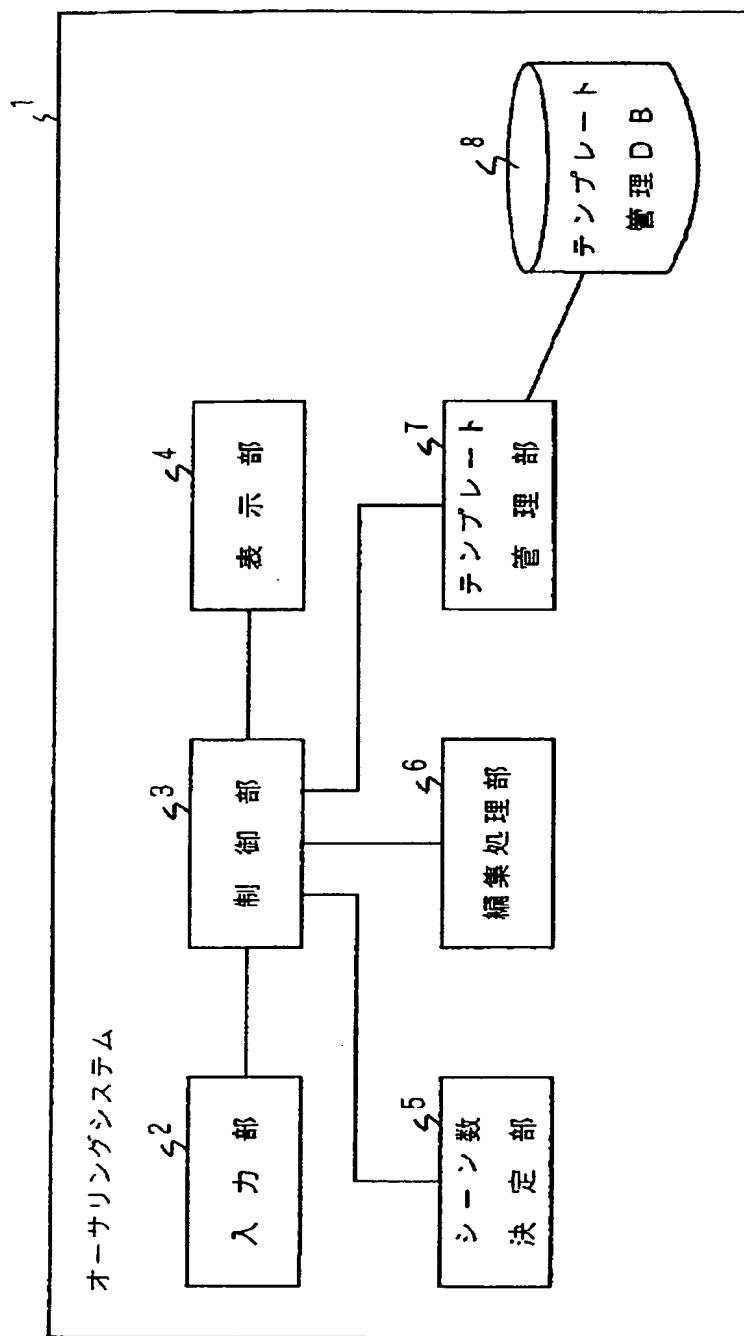
【図2】同実施例の動作を説明するための概念図。

【図3】同実施例の動作を説明するためのフローチャート。

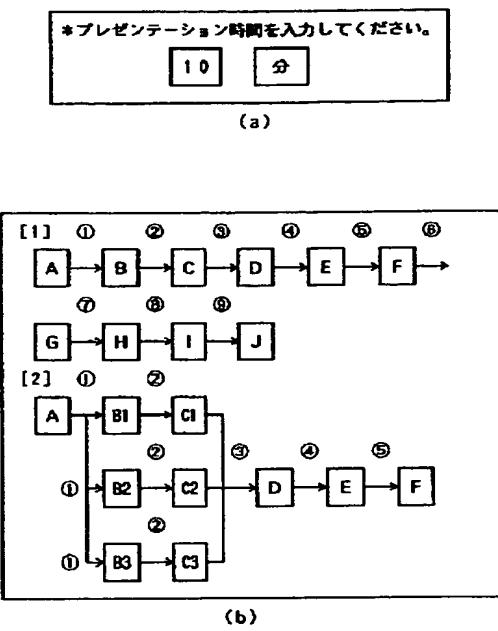
【符号の説明】

40 1…オーサリングシステム、2…入力部、3…制御部、
4…表示部、5…シーン数決定部、6…編集処理部、7…テンプレート管理部、8…テンプレート管理データベース。

【図1】



【図2】



【図3】

